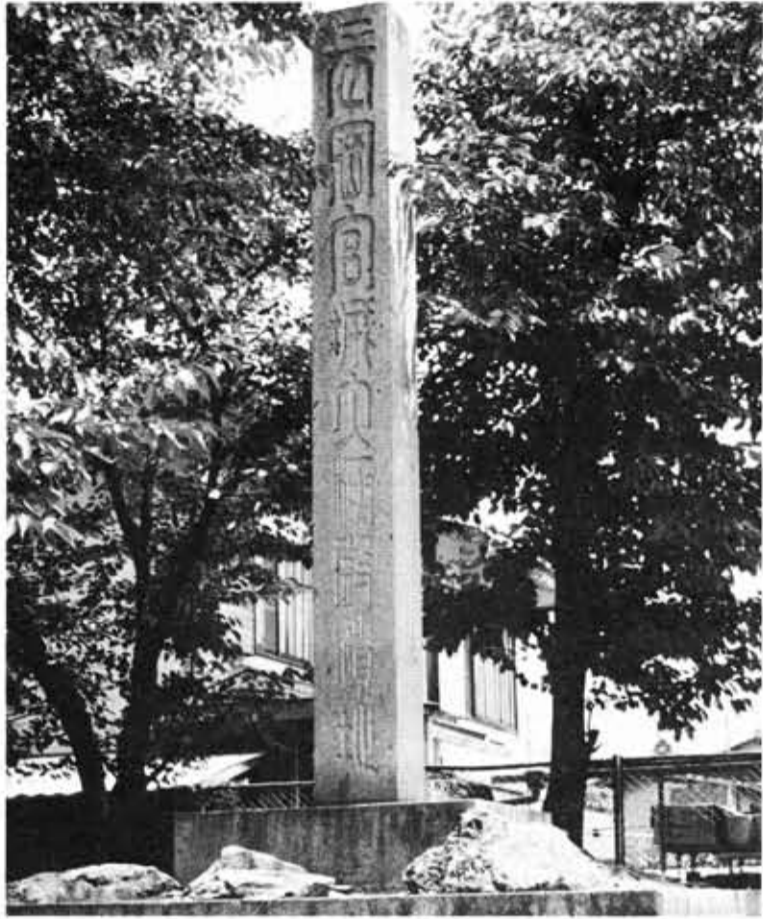


- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
  - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
  - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
  - 1 すくれた教育と文化を育てましょう
  - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



## あなたのアイデアを

私たちのまち向日市は、古くは日本の都「長岡京」の中心地であったことは、すでにみなさんご存じのとおりです。その「長岡京」が、奈良の平城京から遷都されてから、来年でちょうど1200年目にあたります。

市では昨年、「長岡京遷都1200年記念事業懇話会」を設け、遷都1200年にむけて記念事業を計画しています。そこで今回、広く市民のみなさんの考えを聞かせていただくため、記念事業のアイデアを募集します。ふるってご応募ください。

私たちのまち向日市は、市、京都市、大山崎町の三市一町にまたがる。壮大な「都」としてつくりだされ、平城京と平安京の間十年、日都されて以来、千二百年目を迎えることになりました。

本市では、例年、日本の都が奈良の平城京から当地に移された記念すべき日、十一月十一日に大極殿遺跡保存協賛会により「大極殿祭」が行われ、いにしへの

## 来年、長岡京遷都千二百年を迎えます。

王城の地「長岡京」を偲ぶ儀式が続いています。市でも、遷都千二百年目にあたる来年を、市民にとって記念すべき歴史上の節目として意義づけ、明日にむかって伸びようとする本市のまちづくりの大きな役割を果たすような記念事業を実施していく計画をしています。

(五十音順・敬称略)

熱田田(神戸大学教授)▽石井準一郎(市商工連合会会長)▽磯野正中(市議会文教消防常任委員会委員長)▽内田正造(府向日町地方振興局局長)▽小谷嘉明(府教育委員会乙訓教育局長)▽河合紀(陶芸家)▽黒田俊雄(大阪大学教授)▽笹野貞子(堺女子短大教授)▽高橋静二(市教育委員会委員長)▽建口清(市議会議員)▽民秋徳夫(市長)▽東条寿(府教育委員会文化財保護課課長)▽中山修一(長岡京跡発掘調査研究所所長)▽中山山三(大極殿遺跡保存協賛会会長)▽平栄一郎(向陽高校教諭)▽平場安治(乙訓ロータリークラブ)▽古川雅英(向陽小学校教諭)▽宮地幸子(市婦人会会長)▽安井洋太郎(京都乙訓ライオンズクラブ)▽山本建三(写真家)▽湯浅幸一(西山ロータリークラブ)▽吉岡義生(勝山中学校教諭)▽脇田修(大阪大助教授)

### 長岡京遷都千二百年記念事業懇話会を充足

この記念事業は、市独自でできるものではありません。京都府をはじめ、関係諸機関と協議しながら、そして何となく市民のみなさんの参加のもとに進めなければなりません。

そのため市では、昨年十一月十一日、市・市議会・各種団体・学識経験者など二十四人で構成する「長岡



懇話会が初代会合(昨年11月11日)

### アイデアを募集

今回市民の方から募集するアイデアは、記念事業に関するものなら特に制限はありませんが、二十一世紀をめざした新しい向日市の発展の契機となるような事業をお考えください。

アイデアの応募はどなたでもできます。(グループでも結構です)

▼応募方法 四百字詰原稿用紙を使用し、住所・氏名・年齢・職業・性別を記入してください。(枚数制限なし)

▼募集期間 1月15日～3月31日(消印有効)

▼送り先 お問い合わせ 向日市役所企画課「長岡京遷都千二百年記念事業」アイデア募集係内線276

なお、応募アイデアの使用の権利は向日市に帰属します。また、応募アイデアは返却いたしません。

### 長岡京遷都千二百年の由来

和銅三年(七一〇)より七十余年続いた平城京から長岡京への遷都の過程は、「続日本紀」によって詳しく知ることができます。

まず、遷都を予兆させる動きは、延暦三年(七八四)五月七日、大極殿波京の市の近くの池から、ガマ二万匹あまりが大群をなして四天王寺に入ったという報告から始まります。

天智朝の近江遷都に際し、ねずみの移動が「日本書紀」に記されていますが、これと同様、遷都を予兆させるものでした。

これを受けて、同年五月十六日には、具体的な新都探求の行動が始まりました。中納言藤原小黒麻呂(ふじわらのおぐらまろ)・藤原種継(ふじわらたねつぐ)をはじめとする八人が、新都の候補地として、山城国乙訓郡長岡村(現向日市の中心部付近)の視察を命じられました。

視察の結果、都としてふさわしいことが判明すると、直ちに六月十日、藤原種継を長官とした造長岡宮使十名が任命され、ここに長岡京の造営が開始されました。

新都は、平城京と同じく、宮殿だけでなく、京内の条坊や市をも備えた都でした。「続日本紀」に頻りに登場する「新京」・「京中」・「東西京」といった記述は、これを物語っています。

新都の造営に合わせて十月五日には、遷都の儀式を司る御装束師や前後次第司といった臨時の官の任命が行われました。

諸準備の整ったところで、いよいよ桓武天皇の長岡京への行幸が行われました。これが延暦三年十一月十一日でした。

天皇はもろろんのこと、百官すべてが新京に移ったのであり、ここに名実ともに旧京「平城京」の廃都、新京「長岡京」への遷都が実行されたのでした。

この日から数えて、一九八四年十一月十一日は、ちょうど千二百年にあたります。

## "みんなで文化財を火災から守ろう"

### 社寺防火運動 1月20日(木)～26日(水)

#### (1月26日は第29回文化財防火デー)

民族文化の遺産として、文化財は数多く残されていますが、これら貴重な遺産は年々災害などによって失われています。

文化財などの付近では絶対に火気を使用したり、させたりしないこと。

向日市消防本部・消防団・向日市教育委員会



火あそびによる火災を防ぎましょう